



2018年7月6日(金) 17:45~20:15

北海道では、平成20年7月に開催された「北海道洞爺湖サミット」を契機とし、道民一人ひとりが地球温暖化防止に対する理解と意識を深めるための日として7月7日を「北海道クールアース・デイ」と定め、この日を中心に全道各地で普及啓発を行っています。

北海道庁赤れんが庁舎では、家庭や職場などそれぞれの活動の場において電気照明を消して、ローソクの光の中で、地球環境のこと、未来のことを静かに考えるきっかけとするため「赤れんがガイアナイト2018」を開催しました。

当日は、シンボルである赤れんが庁舎のライトダウン(消灯)を行いました。



環境フォーラム (赤れんが庁舎 2階2号会議室)

下川町 谷 一之 町長に、「第1回ジャパンSDGsアワード」推進本部長(内閣総理大臣)賞を受賞された下川町の取組について講演をいただきました。



アイヌ古式舞踊 (赤れんが前庭)

2020年4月、白老町に民族共生象徴空間がオープンします。
今回は、(公財)アイヌ民族文化財団の皆さまに、
アイヌ民族に伝わる伝統楽器(ムックリ、トンコリ)や歌、
古式舞踊(鶴の舞)を披露いただきました。



キャンドル点灯式 (赤れんが前庭)

キャンドルアーティストの手作りを含む約500個のキャンドルで、北海道命名150年のロゴマークをデザインしました。
点灯式では、高橋知事をはじめ、参加者の皆さまにも点灯いただきました。





コンサート (赤れんが前庭)

札幌大谷大学芸術学部音楽学科の皆さまに、キャンドルの優しい灯りの中で、木管五重奏によるガイアナイトにふさわしい素敵な演奏をしていただきました。

